

# ひなたぼっこ

認知症対応型共同生活介護  
グループホーム ひなたの家

平成27年6月発行

## 第25号

## 認知症について ～レビー小体型認知症の症状と特徴～

前号に引き続き、巻頭特集は、認知症の種類について取り上げます。今回は、レビー小体型認知症です。

### レビー小体型認知症とは？

脳の広い範囲に、レビー小体というタンパクが溜まり、脳の神経細胞が徐々に減っていく進行性の病気です。



症状の特徴と、ケアのポイントをご紹介します。

#### ①物忘れ、幻覚、幻視が現れます。

実際にはいない人がいるように感じたり、家族が偽物だと思う等の妄想が出ることもあります。

#### ②運動機能に障がいが見えます。

体や表情が硬くなる、手が震える、歩行の姿勢が悪くなる、転びやすく、寝たきりになりやすい傾向があります。

#### ③自律神経に障がいが見えます。

便秘、失禁、立ちくらみ、失神、また、起立性血圧などの血圧の調整障がいが見られます。

本人は、事実だと思われています。不安になったり、怖がっている時は、理解してもらう事が一番の安心に繋がります。否定せず、受け止めましょう。

転倒しやすい履物（スリッパなど）は避け、つまづきにくい靴を選びます。室内に、転んで大ケガにつながるような物を置かないなど、環境を見直しましょう。

・便秘になると、幻視や精神面が不安定になる傾向があります。  
・夜中に興奮する場合は、昼間の活動を増やすなどして、夜中にぐっすり眠れるように、導きます。

### その他のポイント



- ①幻視の原因になりそうな物を片付けます。  
(例：部屋をシンプルにする、人の顔に見えそうなデザインを避ける。)
- ②部屋にこもらないように、趣味や得意なことを手伝ってもらいましょう。
- ③外出や、会話を増やしましょう。



## 《紹介》～ひなたの家での読み・書き・計算の取り組み・前号の続き～

前号でご紹介したように、認知機能に働きかける学習を、昨年から取り入れています

一番の目的は「学習を通して達成感を得る」ことです。最初から最後まで笑顔で行う事を第一にしています。正解するまで答えさせたり、苦手な学習を勧めたりはしません。

#### 入居者A様

得意は足し算。スラスラと答えながら、勤めていた頃のお話を懐かしそうに聞かせて下さいます。表情が生き生きされています。

#### 入居者B様

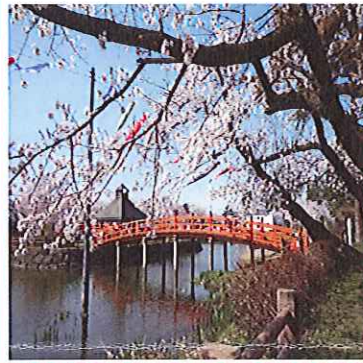
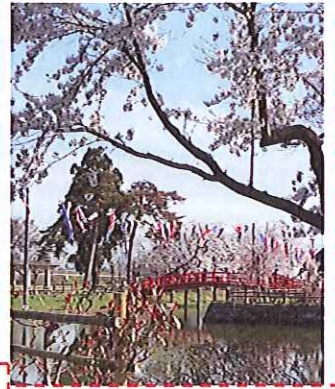
名前の記入欄に、旧姓でお名前を書かれます。通学されていた頃を思い出されるようです。当時のことを話される表情は、とても穏やかです。



# ひなたの家での活動

## 待ちに待った春の到来です!!

暖かい春の陽気に誘われるまま、お花見に向かいました。私たちの訪れを待っていたかのように美しく咲き乱れる花を前に、皆様、笑顔がこぼれておりました。



今年は、真人公園、梨の木公園、東成瀬方面にて、桜と藤棚を楽しみました。



## 慰問

ほがらか会の皆様による歌と踊りの慰問がありました。華やかな出し物を前に、一緒に歌われる方も。楽しいひと時を過ごしました。



## 普段の過ごし方

体操、軽い作業、唱歌の合唱、昔懐かしい遊びなどを行っています。写真は、カルタ取り、おやつ作り、塗り絵です。

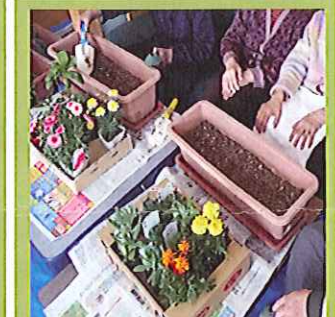


## 毎年恒例の苗植えを行いました

今年、植えた花と野菜です。

菊、ラベンダー、マーガレット、ペチュニア、トルコキキョウ、ミニトマト、シソ、唐辛子、他

皆様でプランターに苗を植えました。苗の買出しも入居様が行われました。土いじりが好きな方は熱中されておりました!

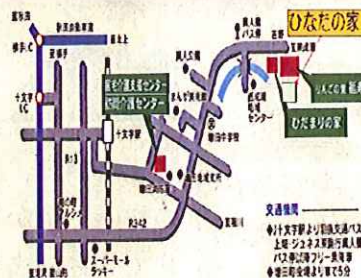


## 編集後記

無事に満開の桜を楽しむことができたと思っていたら、あっという間に新緑の季節となりました。ベランダから外の景色を御覧になられ、入居様が嬉しそうに「今日もいい天気だ」と笑顔で話されている様子を御見かけします。今後とも皆様の笑顔のお手伝いができたらと思っております。

小松

発行・編集／認知症対応型共同生活介護  
グループホーム ひなたの家  
広報委員会 阿部・五十嵐・小松



〒019-0703  
秋田県横手市増田町  
吉野字梨木塚 95-2  
TEL 0182-55-1158  
FAX 0182-45-2280

ひなたの家では、慰問やボランティアの方を募集しております。お気軽にお問い合わせ下さい。